

葉山町議会議長 土佐洋子 様

堀内会館再整備に関する陳情書

開発や町営施設の整備など、地域住民の生活環境や町民の税金の使途に大きな影響を及ぼす事業について、現在の意思決定の進め方には、住民への情報提供および意見反映の面で重大な課題があると考えます。

今回、堀内会館の再整備計画においては、近隣住民に対して計画の全容が十分に知らされないまま事業が進められ、検討委員会の開催についても、近隣住民の意見を聞くことに積極的でなく進行している実態が見受けられます。

また、住民説明会についても、参加者に対してその後の計画変更や会議日程等が継続的に通知される仕組みはなく、情報は一部の住民にしか届いていません。

平日昼間に開催される説明会には、仕事や家庭の事情で参加できない住民も多く、

結果として、実際の利用者や近隣住民の声が十分に反映されているとは言い難い状況です。委員会のメンバーには公募は2名、それ以外は町からの指名が4～6名と聞いています。

よって、現状では、「知らないうちに決まっていた」「意見を言う機会がなかった」と感じる住民を生む仕組みになっています。

堀内会館は、過去に町有地を無償で貸し出し、建物は町内会連合が所有するという、

通常の町営施設とは異なる特殊な形態で運営されてきました。

その管理・運営においての使途が不明確であったことなど、トラブルが未解決と認識しています。

また、現在の建物は町に移管されたとのことですが、実際には利用可能な状態であるにもかかわらず、「メンテナンス不能」との結論のみが先行し、なぜ建て替えが必要なのか、その合理的な理由が住民に十分説明されていません。

多額の税金を投入する事業なので、これらが十分に検討されないまま計画が進められていることは、町民の理解と納得を得られるものではありません。すべての情報を公開し、疑問点を解消し、反対意見も含めて慎重に検討したうえで判断されるべきです。

本陳情の趣旨をご理解いただき、堀内会館再整備計画に関して以下の点を明確にし、透明な再検討をしていただきたく陳情いたします。

1. 堀内会館を町に移管するに至った経緯
2. 金銭トラブルの解決(駐車場の有料貸し出しなど)
3. 立て替えをしなければならない理由
4. 代替案との比較(メンテナンス・耐震等)
5. 近隣住民との密な折衝及び説明

令和8年1月26日 葉山町堀内939-13 中尾和嘉

中尾和嘉

